

2017年 4月号 No.13

ブラジリアの風

VENTO DE BRASÍLIA

「わが神、わが神、どうしてわたしを…」

マタイ27.46



一月末にブラジルに戻ってから早二ヶ月が過ぎました。日本は桜の季節を迎え、新年度の歩みがスタートしていることでしょう。いつも皆様のお祈りとご支援に支えられていることを心から感謝しております。

ブラジリアは深刻な水不足が続き、私の町でも週一回は給水がストップ。本来雨期に降るはずの雨が降らず、今後四月以降は乾期に入るため、しばらくは給水制限が続きそうです。水の有り難さに感謝しつつ節水の日々を送っています。

我が家の子どもたちは、現地校での生活にも慣れ、家庭ではポルトガル語と日本語が飛び交っています。それぞれに成長の課題はありますが、日々の祈りと関わりの中で、その人格と心が整えられ、主のご用に間に合う者になって欲しいと願っています。

三月には、教会の開拓期から忠実に仕えてこられた榎美代子姉妹が74歳で召天。

「一つの時代が終わった感じがする」との牧師夫人の言葉通り、日本人1世がまた一人「一粒の麦」として地上から去っていく淋しさ。でもそこに確かに残された信仰の証が、残された者に語りかけるものの大きさ。一月の羽高十一郎さん、二月の松岡信一郎さんに続く召天。「主の時」に備えることができるようにと心引き締められつつ、御国を近く感じる事が許されています。

四月の高齢者の集いでは冒頭の主イエスの言葉を思いを巡らしました。罪人が受けるべき渴きと死の罰を、主自らが「あの木」の上で全うされ、父なる神に発せられた絶叫。その犠牲の大きさと愛の深さを覚えつつ、受難週を迎えています。受難と復活の主の恵みが諸教会と兄弟姉妹の上にありますように。

2017年 4月10日 浜田献、陽子

感謝

献金者一覧 (2017年1-3月)

豊栄キリスト教会、青葉キリスト教会、麻布霞町教会、愛宕山教会、矢作キリスト教会、白井聖書教会、永福南キリスト教会、聖書宣教会(神学舎)、浜田良夫、蛍池聖書教会、播磨キリスト教会、学園前聖書教会、原町キリスト福音教会、安城中央キリスト教会、生駒めぐみ教会、

総和キリスト教会、新船橋キリスト教会、松戸福音教会、波崎キリスト教会、多磨教会、町田南キリスト教会、相馬キリスト福音教会、八千代聖書教会、石神井福音教会、新津福音キリスト教会(敬称略)計480,806円

皆様の祈りの内にある尊いご献金を心から感謝申し上げます。改めてブラジルよりお礼状を送らせていただきます。今後とも

ご支援、お祈りをよろしくお願いいたします。

本年指定献金目標額：200万円

■献金先：

郵便振替 00120-5-142886
日本同盟基督教団事務所

「浜田宣教師指定」とご明記下さい。

第二期宣教スタート！

ハマダ・ファミリー

○けん 週三回の夜のジョギングで心身のリフレッシュ。6月の日本語学校スピーチ大会に向けて、生徒たちの作文を添削翻訳する日々です。時折子どもたちと見る日本の映画や音楽に力を得ています。ジブリ作品の奥深さが少しわかるようになってきました。

○ようこ 一月末にブラジルへ再到着後、すぐに子どもの学校が始まり、引越しあり、キャンプありと無我夢中の日々でした。落ち着いた今は、ちょっぴりホームシックを感じています。

○まりお（14歳）お母さんの背を抜いて食べ盛りの成長期。

○ゆうき（11歳）今年から学校を変わり、頑張っています。4月で11歳になりました。

○せいや（7歳）レゴ、絵本、折り紙と何でも興味津々で取り組んでいます。

○しょう（4歳）絵本ブームの日々。お気に入りには林明子さんとベスコフの作品です。



キャンプ場でのパン？食い競争（聖也）



甘えん坊（翔）



習字の個人レッスン



松岡れい子さん宅での集会后



召天された榎美代子さん/100歳のご主人はご健在



フェイジョアードのバザール開催
（約350人が購入）

日本同盟基督教団 ブラジル宣教師 浜田献、陽子／真理生、湧希、聖也、翔
住所：Av. Contorno, Bloco 1125, Casa 11, N.B.-DF. Brasília BRASIL CEP:71705-024
E-mail: kenyokomario@yahoo.co.jp 第二期（2017.1～2020.12予定）